



知床科学委員会 しんぶん

科学委員会本体会議 NO. 4



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報を科学委員会から皆さんにお伝えします。

科学委員会って?

科学委員会は、様々な分野の専門家が集まり、知床世界自然遺産のよりよい保安全管理のためのアドバイスをする組織です。科学委員会の下には、分野ごとに4つの関連会議が設置されています。

今回の会議

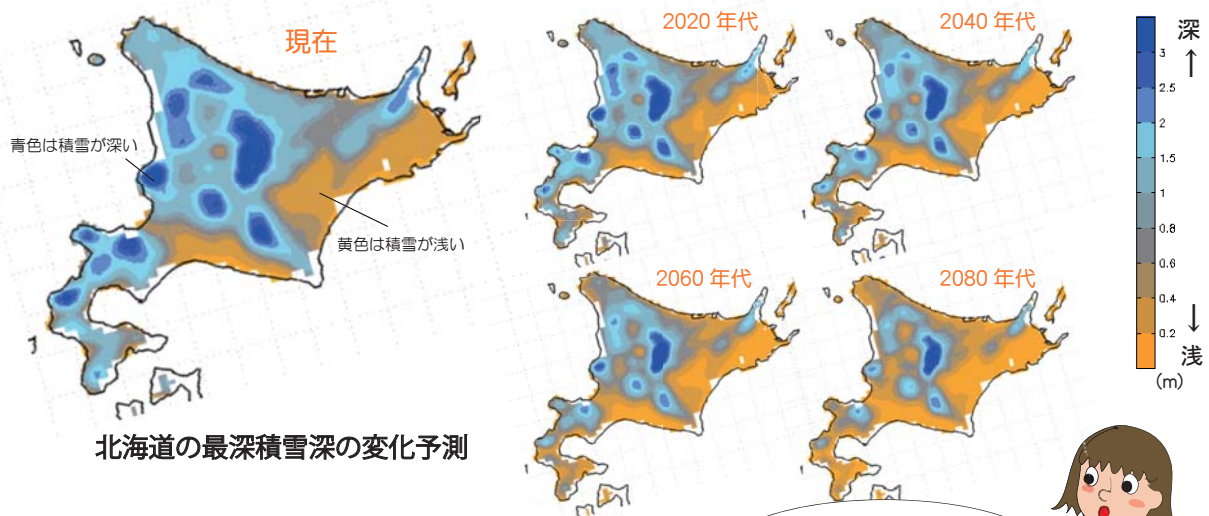
2月23日(土)に札幌市の北農健保会館にて、今年度第2回目の会議がありました。

必見! TOPIC

地球温暖化、知床は大丈夫なの?

温暖化をはじめとした気候の変動は、知床の自然にも少しずつ変化を与えると予測されます。どう変化していくのか予測することができれば、計画的に知床の自然を守ることができます。その変化を地球規模で予測しているのが「気候変動シミュレーション」です。

これまで北海道や知床といった狭い範囲についての予測は難しかったのですが、北海道大学の研究グループでは、地球規模の大きなスケールの予測結果から北海道だけを細かくみることでできるモデル作りに取り組んできています。平成26年完成予定のためまだ途中ですが、今回の会議で紹介された一例をご紹介します。



温暖化が進めば、大雪山系や日高山脈、知床連山など標高の高いところよりも低いところで先行して今よりも雪が少なくなると予測されています。

標高の低い平野部の方が影響を受けやすいんだね。

※全球気候モデル (MIROC-medres) による地球全体の冬季気候予測結果から北海道の積雪深を予測しています。

今話題のこの計画

- ① 第2期多利用型統合的・海域管理計画
- ② 知床エコツーリズム戦略
- ③ 平成23年度知床世界自然遺産地域年次報告書
- ④ 知床国立公園管理計画改定について
- ⑤ 気候変動シミュレーションの結果
- ⑥ 利用適正・エコツーリズム
検討会議ワトロ海域部会の成果報告

注目!

知床で進む計画と戦略

→ 知床の自然を未来へつなぐ

よりよい形で知床の自然を後世へ引き継いでいくための計画があることをごぞんじでしょうか？
それが遺産地域管理計画です。この全体を網羅した計画のほかに、多利用型統合的・海域管理計画、エゾシカ保護管理計画、エコツーリズム戦略など5つの計画が個別に作られています。

今回の会議では、2012年度末に期限を迎える海域管理計画と、2012年6月から試行される、この4月から実行されるエコツーリズム戦略についての報告がありました。



たくさんの計画があるんだね～!



どんな計画があるの？

多利用型 統合的・海域管理 計画

海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業の営みを両立するための計画です。

エゾシカ 保護管理計画

知床半島のエゾシカ個体群を適正に管理する方策を検討するための計画です。

エコツーリズム 戦略

観光利用の推進により、遺産地域のすべての関係者が共通の将来目標と、その目標を地域主導で達成するための方法を共有することを目的としています。

◆ エコツーリズム戦略

これまで行政主導によって策定されてきた観光に係る基本計画や申し合わせを、地域住民などの提案を受け、議論を経て承認を経ることで、新たなルール作りができるようになった仕組み・体制となったのが大きな特徴です。

◆ 多利用型統合的 海域管理計画

今回の見直しで新たに海の生態系が地域の経済や社会へもたらす恩恵を考慮するという視点が加えられています。



↑ 知床世界自然遺産地域管理計画

計画の全文が見たい方は下記へ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

知床世界自然遺産地域管理計画
もココで見ることができます。



■ 問合せ先 ■

環境省釧路自然環境事務所
 〒085-8639
 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階
 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

委員の大島
です。



南極海やオホーツク海など寒冷域の海や流水の循環・変動の研究をしています。北海道大学低温科学研究所教授。

人間活動による温暖化で地球の平均気温はこの五〇年で〇・六五度上昇しています。オホーツク海周辺は、平均よりも早いスピードで気温も上昇し、流水も三〇年で二〇%も減っています。そうすると、生き物の置かれる環境も変わりますし、流水域の南限である知床周辺は特にその影響を強く受ける可能性があります。こういった変化をしっかりと監視して、先を予測する、科学委員会に課せられた大きな課題です。

委員 大島慶一郎